

インタビュー

取締役会議長とは何か

岩田 喜美枝

聞き手 北川 哲雄

目次

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 経歴 3. 独立社外取締役としての意識の変化 4. 指名委員会等設置会社が究極の姿？ 5. 機関投資家との対話 6. 独立社外取締役の増員 7. 取締役会の評価 | <ol style="list-style-type: none"> 8. 取締役会のスキルマトリックス 9. 取締役会議長とCEOの分離 10. 取締役会における議題の選定と取締役会事務局の役割 11. 独立社外取締役に求められる資質とサクセッションプラン |
|---|---|

1. はじめに

北川 今月号の特集テーマは「独立社外取締役の新たな役割」である。最近、企業の不祥事が相次ぎ、そのたびに経済誌で、「独立社外取締役の機能不全」というセンセーショナルな見出しを付けた記事がみられる。一方で、一部の機関投資家が

らは、中長期の企業価値向上を促すという高い役割期待を独立社外取締役（以下、社外取締役）に求める動きも出てきている。社外取締役と機関投資家との直接ミーティングも珍しくなくなった。さらに、コーポレートガバナンス・コード改訂のたびに、社外取締役の取締役会における役割期待が大きくなり、それとともに、社外取締役の評価

岩田 喜美枝（いわた きみえ）

味の素独立社外取締役・取締役会議長、りそなホールディングス独立社外取締役・指名委員会委員長。1971年東京大学教養学部卒業。同年労働省（現厚生労働省）入省、2001年厚生労働省雇用均等・児童家庭局長。2004年資生堂取締役執行役員、2008年同社代表取締役執行役員副社長。2012年キリンホールディングス社外監査役、日本航空独立社外取締役、2015年東京都監査委員、2018年住友商事独立社外取締役。2019年りそなホールディングス独立社外取締役（現任）、味の素独立社外取締役（現任）。

北川 哲雄（きたがわ てつお）

青山学院大学名誉教授、東京都立大学特任教授。1981年よりセルサイド、バイサイドのアナリスト、運用機関の調査部長等を経験ののち、2005年青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授。2019年より現職。最近の主な編著書に、『サステナビリティ情報開示ハンドブック』（日本経済新聞出版、2023年、編著）、『ESGカオスを超えて—新たな資本市場構築への道標—』（中央経済社、2022年、編著）などがある。証券アナリストジャーナル編集委員会委員。

（このインタビューは、2025年11月7日に日本証券アナリスト協会で行われた）